

**前身は老舗旅館、創業 120 年のホテル、畳や陶器風呂、障子など和の要素を巧みに
ジュニアスイートのみの“スモールラグジュアリーホテル”（全 9 室）が、
外国人観光客が選ぶ日本 3 位の宿泊施設に輝く**

ホテル・レストラン業の老舗、創業 120 年の(株)龍名館(東京都千代田区)は、ミシュラン 5 年連続掲載の東京・御茶ノ水の高級ホテル「ホテル龍名館お茶の水本店」(1泊1室 6.5 万円～)でこの度、外国人観光客が選ぶ日本の宿泊施設のランキング*の日本 3 位に輝きました。

※2018.12 発表「クチコミ高評価の日本の宿 2016-2018」(世界最大のクチコミ・プラットフォーム「TrustYou」提供)

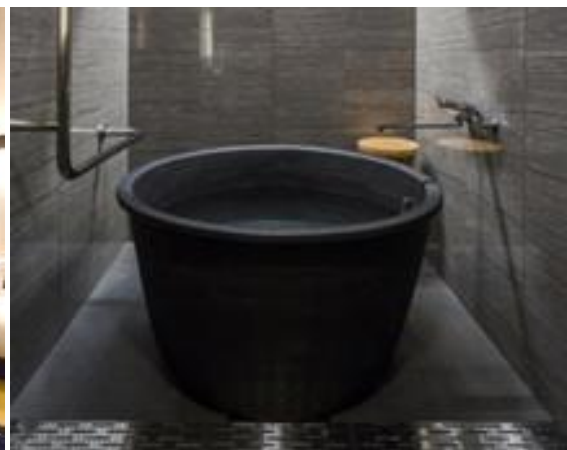
旅館のおもてなしの心や和の演出を残したホテルとして支持されており、2014 年 8 月の開業以降、宿泊客全体の 9 割を海外の方が占めています。

これまでに「ミシュランガイド東京」で 5 年連続三ツ星(パビリオン)を獲得しているほか、世界最大の旅行口コミサイト「TripAdvisor(トリップアドバイザー)」では、2017 年度から 2 年連続でエクセレンス認証を受け、「一休.com」の「東京エリア」ホテル・旅館では口コミ評価 1 位を獲得(2019 年 3 月現在)するなど、国内外から高い評価を得ています。

当ホテルは、1899 年創業の老舗旅館「旅館龍名館本店」を改装し、2014 年に開業。「東京の和」をデザインテーマに、全 9 室のジュニアスイートルームでもてなす、スモールラグジュアリーホテルです。

客室は、高級感のある“モダン・シック”なデザインの中に、畳や障子など、元老舗旅館ならではの“和”の要素も巧みに取り入れています。

全室の浴槽に、国の伝統工芸品指定の、滋賀県の信楽焼(しがらきやき)の陶器風呂を使用しているのも特長です。一つひとつを職人が手作りした、贅沢な浴槽です。“お風呂で心身を癒す”日本ならではの文化を楽しめると、海外の方からも好評です。



左)畳、障子など都心でありながら、旅館のような和の空間 右)直径 110cm、ゆったりサイズの陶器風呂

寝具にもこだわり、京都の高級寝具メーカー、(株)イワタの高機能マットレス「ラクオール(Larkowl)」を採用。カシミアやキャメルなど天然の毛を使用しており、冷えや蒸れを感じることはない、快適な眠りを提供します。

内装は、江戸の伝統色である群青色のカーペットなど、落ち着いた色合いでまとめており、優雅さと気品を兼ね備えた雰囲気です。都心にいながら、“旅館ステイ”を楽しめる、安らぎの空間です。

女性に嬉しいミキモトコスメティックスのアメニティ！浴衣・下駄もお部屋にご用意

客室には、アメニティセットを風呂敷に包んで用意。スキンケアは真珠由来の保湿成分を使用した「ミキモトコスメティックス」製、ヘアケアは緑茶から抽出し抗酸化作用のあるカテキン入りと、女性に嬉しいセレクトです。

また、旅館の雰囲気を感じられるよう、浴衣と下駄も客室に。浴衣は、東京・神田出身で江戸型染作家の小倉充子氏(小倉染色図案工房)が手掛けた、龍名館のオリジナルデザインです。



下駄とオリジナルデザインの浴衣を客室に都心にいながら、温泉旅館のような風情

お部屋でいただく、和食の職人が手掛けた“特製和朝食”

宿泊者限定の“和朝食”は、お部屋で優雅にお楽しみいただけます。日本茶をコンセプトにした、ホテル1階の創作和食店の料理人が、創業以来120年培ってきた会席料理の技が冴える数々を用意します。

おすすめは、「龍御膳」(税込3,300円・写真右)。旬の素材で作る和の惣菜6種と旬魚の焼き物などを揃えた、彩り豊かな内容です。



お米は、化学農薬や肥料を極力少なくした栽培で長野県初のエコファーマーの認定を受けた、飯山市・岡忠農園のコシヒカリを使用します。

また、一日の始まりは、縁起が良いとされる「朝茶」から。一口分の玉露茶を添えます。そのほかに、龍名館オリジナルのブレンド茶葉(狭山茶)を使用した日本茶も、急須と湯呑のセットとともにお部屋にご用意しています。

フリーWi-Fi、無料スマホ「handy」完備

客室にはインターネットに接続し国内外へフリー通話できるスマートフォン「handy(ハンディ)」を無料設置するほか、全館フリーWi-Fiを完備するなど、快適な滞在をサポートします。

旅館「龍名館」の“おもてなしの心”を受け継いだ、小規模高級ホテル

「ホテル龍名館お茶の水本店」の前身は、1899年(明治32年)開業の旅館「旅館龍名館本店」です。

同旅館は、日本画家の川村曼舟や伊東深水らはじめ、多くの文化人に愛されました。作家の幸田露伴の次女である幸田文が、小説「流れる」で、帝国ホテルと並び在京の名店に挙げたほか、宿泊した画家が宿泊代の代わりに自身の絵を置くなどのエピソードが残ります。



1899年開業、木造時代の「旅館龍名館本店」

「ホテル 龍名館お茶の水本店」は、そうした高品質のサービスや文化、日本旅館のきめ細やかなおもてなしの心を受け継ぎ、一般旅館から小規模高級ホテルに業態を変更し、2014年8月に開業しました。

全9室のみの客室は、旅館らしさを出すために、番号ではなく、「牡丹(ぼたん)」「菊」「藤」「銀杏(いちょう)」「松」「桐」「百合(ゆり)」「蘭」「桜」と、9つの木や花の名を付けています。



(左)
多くの文化人に愛された「旅館龍名館」創業以来、槐(えんじゅ)の樹が見守るエントランス

(右)
きめ細かなホスピタリティで迎えるスタッフ。「宿泊したゲストとの交流が生まれるのも楽しみ」と話します

ホテル龍名館お茶の水本店 概要

ホテル名	ホテル龍名館お茶の水本店	住 所	東京都千代田区神田駿河台3-4
交 通	JR「御茶ノ水駅」から徒歩3分、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」から徒歩1分 東京メトロ丸の内線「淡路町駅」から徒歩1分、都営地下鉄新宿線「小川町駅」から徒歩1分		
施 設	客室9室(全9室ジュニアスイートルーム/2人1室タイプのみ)、レストラン1軒		
客室料金	1泊6万5000円～6万8000円	チェック時間	チェックイン 15時、チェックアウト 12時
ホームページ	http://www.ryumeikan-honten.jp/	連 絡 先	03-3251-1135



(左) 京都の高級寝具メーカー、(株)イワタの高機能マットレス「ラクオール(Larkowl)」

(右) コーヒーを飲みながら寛げるライブラリースペースも
ブックコーディネーターが旅行をより楽しむための書籍や、日本の魅力が詰まった書籍約200冊を厳選

————— 報道各位からのお問い合わせ先 —————

(株)龍名館 広報担当 濱田(はまだ)・山口 TEL:03-5298-2988 MAIL:p.r@ryumeikan.co.jp
広報事務局(Clover PR内) 富田、福本、澤本 TEL:03-6452-5220 MAIL:cloverpr@cloverpr.net

〈ご参考〉ホテル併設「レストラン 1899 お茶の水」について

創業 120 年の老舗が手掛ける、日本茶を「淹れる」「食す」レストラン

「ホテル龍名館お茶の水本店」1 階にある、創作和食店(日本茶レストラン)「RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU(レストラン 1899 お茶の水)」は、ホテルと同時期の 2014 年 8 月 1 日にオープン。

日本茶を飲むだけでなく、「日本茶」を「淹れる」「食べる」をコンセプトに、「飲むお茶」と「お茶料理」、「お茶スイーツ」を提供しています。

カフェ営業では、店舗専属のお茶の専門家「茶バリエ」が茶釜を置いたカウンターキッチンで、お湯の温度管理をしながら、各茶葉に合わせて浸出時間を変え、お茶を淹れます。厳選した日本茶約 10 種に加え、抹茶プリンやほうじ茶アイスなどの“お茶スイーツ”を提供します。

ランチでは、“抹茶味噌”で味わう鯛茶漬けや、ほうじ茶で炊いた茶飯、“抹茶豆乳”で作ったポタージュ等を揃えます。

夜は、お茶ソースで味わう「茶～ニャカウダ」や茶葉をまるごと食べられるカルパッチョ、さらにお店名物の「抹茶ビール」などをお楽しみいただけます。



店舗概要

店 名	RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU(レストラン 1899 お茶の水) ※旧店舗名: GREEN TEA RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU		
種 別	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-4 (ホテル龍名館お茶の水本店 1F)		
交 通	JR「御茶ノ水駅」から徒歩 3 分、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」から徒歩 1 分 東京メトロ丸の内線「淡路町駅」から徒歩 1 分、都営地下鉄新宿線「小川町駅」から徒歩 1 分		
開 業 日	2014 年 8 月 1 日(金) ※2017 年 12 月 1 日(金)リブランディング(店名変更)		
営業時間	ランチ 11:00～15:00、カフェ 14:00～16:30、ディナー17:30～23:00 ※日曜・祝日は～22:00 ※2019 年 7 月 1 日(月)より、ランチ営業時間は「11:00～14:00」に変更		
平均単価	ランチ 1200 円、カフェ 800 円、ディナー4000 円		
フロア概要	店内 40 席、テラス 22 席	連絡先	電話 03-3251-1150
ホームページ	http://1899.jp	S N S	facebook.com/1899ochanomizu

————— 報道各位からのお問い合わせ先 —————

(株)龍名館 広報担当 濱田(はまだ)・山口 TEL:03-5298-2988 MAIL:p.r@ryumeikan.co.jp
 広報事務局(Clover PR 内) 富田、福本、澤本 TEL:03-6452-5220 MAIL:cloverpr@cloverpr.net